



# 元気っ子

No.279 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

11月に入って、保育園正面玄関横の桂の木もすっかり黄色く色付きました。朝晩は寒さを感じるようになってきましたが、昼間はまだまだ日差しも気持ち良く、子どもたちは盛んに戸外での活動に出て、ドングリなどの木の实を集めたり、色付いた葉っぱを集めたりとこの季節、この地域ならではの遊びを満喫しています。先日、職員が集めてきてくれたドングリは製作のオブジェになったり、楊枝を差してコマを作ったり、子どもたちは「もの作り」に一生懸命でした。私も参加してそのドングリに竹串を刺して「ヤジロベー」を作ってみたのですが、あまり馴染みのない子どもたちは不思議そうに見ていました。

秋が深まるにつれて心配になるのは感染症です。今年はインフルエンザに加えてコロナウイルスに対しても最大限の警戒をしなければなりません。一足早く冬を迎えるヨーロッパの各国ではフランスでのロックダウンやスペインでの非常事態宣言などすでに感染再拡大の兆しが見えていますし、日本でもとりわけ北海道では感染が広がりつつあります。

そんな中、先日、コロナウイルス感染対策セミナーを職員にも受講（オンライン）してもらいました。その報告によると、このウイルスの感染経路は主に空気感染で、口から出るエアロゾルという非常に細かい水分粒子で、これは飛沫とは違って空気中を漂うことにより拡がっていくため、換気が何よりも大切だということです。その換気も1時間に最低6回、できれば12回だそうです。保育園でもしっかりと換気を徹底し、「正しく恐れる」ことを意識していきます。

保育園の駐車場利用についてをお願いをホームページの「お知らせ」に掲載しております。登園降園の際は駐車場が非常に混み合います。そんな中、お子さんが駐車場付近で遊んでいると非常に危険です。特にこれからの季節は暗くなる時間も早くなり、見通しが悪くなります。くれぐれも車に乗り込むまではお子さんの手を放さずに、速やかにお車のご移動をして頂きますよう宜しくお願い致します。昨年、大分県の保育園駐車場で起きた悲しい事故を風化させてはいけません。保護者の皆様一人一人が意識して頂くことがとても大切です。保育園でもお集まりの際に子どもたちにお話をして参りますので、親子で一緒に意識して頂くと思います。

最近、保護者の方とお話をする機会を頂いております。こういう機会を頂けることはとても嬉しく思います。本来であれば、お茶をお出ししてゆっくりお話を楽しめたら良いのですが、今はコロナウイルス感染対策のためなかなかそういったことはできませんが、お時間の許される保護者の方で、ちょっと立ち寄ってみようかなと思う方は是非、お気軽にお声掛け下さい。保育の話だけでなく世間話でもけっこうです。

